



沿革

- | | | | |
|------|---|------|--|
| 1958 | 国から旧海軍工廠跡地の払い下げを受け工場建設を開始。 | 1989 | フィリピン工場(現:Mitsubishi Power (Philippines) Inc.)設立。 |
| 1959 | (株)日立製作所呉分工場設立。 | 1999 | 呉工場から呉事業所に改称。 |
| 1961 | (株)日立製作所呉工場設立。 | 2011 | 中国触媒工場(現:三菱動力(杭州)環保設備有限公司)設立。 |
| 1964 | (株)日立製作所呉工場が日立ボイラ(株)として分離独立。 | 2014 | 三菱重工工業(株)と(株)日立製作所の火力発電システム事業を統合し、三菱日立パワーシステムズ(株)が設立。
三菱日立パワーシステムズ(株)とパブコック日立(株)が合併し、三菱日立パワーシステムズ(株)呉工場となる。 |
| 1965 | 日立ボイラ(株)とパブコック日立(株)が合併し、パブコック日立(株)となる。(日立製作所85%、英国B&W15%) | 2020 | 三菱パワー株式会社に社名変更。
これに伴い、三菱パワー(株)呉工場となる。 |
| 1987 | (株)日立製作所出資100%となる。安芸津工場設立。 | | |



交通案内

呉地区(第一工場)

〒737-8508 広島県呉市宝町6-9 tel (0823)21-1161
 〈電車・バス〉 JR呉線 呉駅下車 徒歩約4分
 広島空港から呉駅 バス約60分

呉地区(第二工場)

〒737-0027 広島県呉市昭和町10-1 tel (0823)21-7236
 〈電車・タクシー〉 JR呉線 呉駅下車 タクシー約10分

安芸津地区

〒739-2403 広島県東広島市安芸津町風早3300 tel (0846)45-4225
 〈電車・タクシー〉 JR呉線 安芸津駅下車 タクシー約4分
 JR東広島駅(山陽新幹線)下車 タクシー約20分
 広島空港からタクシー約40分

KURE WORKS

呉工場案内



KURE SINCE 1959

エネルギーと環境技術で 社会に貢献

呉工場は、1959年(昭和34年)にボイラー製造の工場として設立。現在は、火力発電用ボイラー、排煙脱硫装置、脱硝装置などエネルギーと環境保全に関連する製品とサービスを、日本国内をはじめ世界各国に提供しています。また、石炭ガス化複合発電、低品位炭燃焼技術、CO₂回収などの新技術開発にも積極的に取り組んでいます。

工場面積(延面積)

246,451㎡(敷地) 81,050㎡(建物)

国際認証

- ISO 9001 品質マネジメントシステム
- ISO 14001 環境マネジメントシステム

主要製品の年間生産能力

ボイラー
230万kW

KURE WORKS

主要製品



ボイラー(3,000トン/h 石炭焚貫流ボイラー 105万kW)



石炭ガス化複合発電 ガス化炉



脱硫装置(石炭焚ボイラー(100万kW))用
湿式石灰石・石膏法脱硫装置



板状脱硝触媒

主要生産設備



高周波パイプベンダー



圧力容器水圧試験用ピット

工場概要



- 1 正門
- 2 設計棟
- 3 本館
- 4 ベンディングロール工場
- 5 モジュールヤード
- 6 組立・パネル工場
- 7 パネル工場
- 8 機械・ヘッダー工場
- 9 コイル工場
- 10 配管工場
- 11 第一実験場
- 12 燃焼試験設備
- 13 体育館・食堂



- 14 機械・部品・圧力容器工場
- 15 機械工場
- 16 プレス工場
- 17 張出しクレーン

呉地区(第二工場)

呉地区(第二工場)は、呉地区(第一工場)から車で約10分の距離にあり、圧力容器やドラムなど重量品の製作を行っています。当工場には、戦艦大和・武蔵の砲塔を組み立てた巨大なピット(直径18m、深さ21m)があり、圧力容器の製作や耐圧試験に今も活用しています。

呉地区(第一工場)

呉地区(第一工場)には、明治以降、日本の近代化の礎となった造船・製鋼をはじめとした各種の「科学技術」を受け継いできた文化があります。瀬戸内海に面した呉地区(第一工場)は、JR呉駅、呉中央橋樑ターミナルからも近く、大変交通の便が良いところです。ここでは、当工場の主力製品であるボイラー他の設計・製作を行っています。



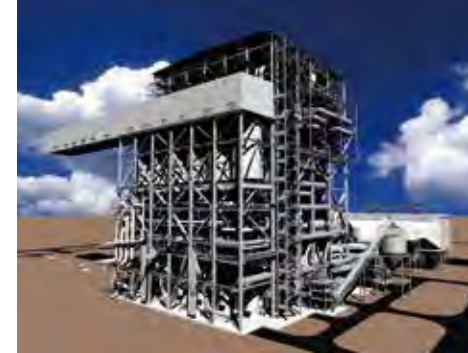
- 18 正門
- 19 事務所
- 20 21 触媒製作工場
- 22 開発棟
- 23 大型試験設備
- 24 AQCS実験場

安芸津地区

安芸津地区は、脱硝触媒の専門工場です。環境関連の研究部門も配置され、開発から生産まで一貫体制を構築しています。

3D-デジタルモデルでの設計

高効率かつ環境性能に優れた、高温・高圧の大型ボイラーを国内外に数多く納入しています。高性能、高信頼性を追求するとともに、お客様の多様なニーズに応えるために、3D CAD、CAE(解析)、3Dビューワーなどを組み合わせた最新の3Dデジタル設計技術で、最適なプラント設計・製造・建設を実現。工期の短縮化や品質の向上に取り組んでいます。



総合排煙処理システム(AQCS: Air Quality Control Systems)

燃焼による排出ガスに含まれるNOx(窒素酸化物)、SO₂(二酸化硫黄)、粉じんなどの大気汚染物質を取り除く技術を確認。脱硝装置、集じん装置、脱硫装置などを組み合わせた総合排煙処理システムを実用化しました。ボイラーの燃焼技術との組み合わせにより、厳しい環境規制に適合するクリーン発電を実現しています。

